

科目名		授業形態	担当教員名	
リハビリテーション概論		講義	坂東 恵美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
リハビリテーションに関わる職種である理学療法士として、保健医療福祉分野で活躍するためにリハビリテーションの理念や分類について学ぶ。チーム医療の一員として、他職種から仕事の役割について講義してもらい理解を深める。また、障がい者や患者様の障害・生活機能について学ぶ。				
授業の到達目標				
1. リハビリテーションの理念について説明できる。 2. リハビリテーションの分類について説明できる。 3. 他職種について役割を説明できる。 4. チーム医療について理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	リハビリテーションの理念			
2	ノーマライゼーション・IL運動、健康と障害			
3	自立とは、健康とは、QOLとは			
4	障害者とは			
5	ICIDH、ICF			
6	リハビリテーションの分類について（含 自立支援・就労支援）			
7	医学的リハビリテーションの流れ・地域包括ケアシステムについて			
8	専門職、チーム医療			
9	多職種連携の理解			
10	作業療法・作業療法士とは			
11	言語聴覚療法・言語聴覚士とは			
12	障害のある方を招いて講演			
13	障害のある方を招いて講演			
14	障害のある方を招いて講演について			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	50%	数回提出する課題やプリント		
小テスト	40%	講義時に数回行う		
平常点	10%	講義に取り組む姿勢・態度を総合的に判断する		
その他				
自由記載	提出物は形式・期限を守れていない場合は減点する。小テストは公欠、病欠のみ再テストする。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
理学療法概論テキスト 第4版		監修 細田多穂	南江堂	
自由記載				
備考				
作業療法・言語聴覚療法については作業療法士、言語聴覚士の先生に講義していただく。 障害のある方から講演していただく。				